



大木健太郎
データセンター事業
第2営業部係長

「名刺バ
ンク2」



石神哲
上席執行役員

データ
センター
上で様々
なクラウ
ドサービ
スを展開
するアイ
ネットは、

新たな名刺管理サービス提供
ドアノックツールとして期待

アイネット

9600・プライム

を提供している。

同サービスは名刺管理システム「名刺バンク」の改良版。画像からの文字読み取り性能が向上。また、同一人物判定（名寄せ）を行った際の既交換者の通知機能により、最新名刺情報への更新が容易となった。

「元々の『名刺バンク』の提供開始から約10年経過し、新しく作り直そうということで開発しました。名刺情報は会社の重要な経営資源ですので、商談内容なども含めて情報を共有してもらいたいという思いです」（大木健太郎DC本部データセンター事業部第二営業部係長）

名刺の検索などが、ツールリックまでで完了するシンプルな操作機能や、累積上限登録枚数を決めるだけで、何人利用しても月額費用が一定という点も特徴だ。

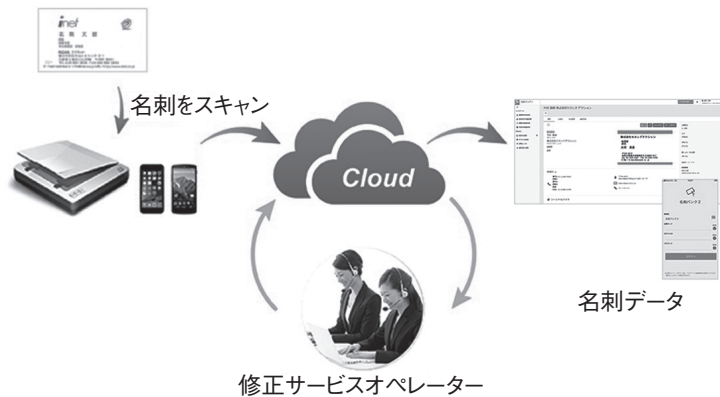
コロナウイルスの影響で、ウェブ上での名刺交換が増えており、今後もユーザーからの要望に応えた機能の改善や、拡充を行っていく方針。

「既存の『名刺バンク』もまだ稼働中で利用者も多い。4月あたりに名刺の登録枚数の少ないお客様から移行していく計画を立てています」（同氏）

「名刺バンク2」を入り口として、

他のサービス提供への横展開も期待される。また、宇宙ゴミの除去サービスなどを開発するアストロスケール社に出資するなど、宇宙開発分野を今後の方針のカギとし、多岐にわたるサービス展開を狙う。

▶名刺バンク2の仕組み



アイネット 2022年3月期 連結業績予想

売上高	325億円 (前期比8.3%増)
営業利益	23億3000万円 (同8.1%増)
経常利益	23億3000万円 (同2.2%増)
当期純利益	16億円 (同7.0%増)